



解剖診断 CPC を終えて

二次研修医 山井 悠吉

当院 2 年次研修医の山井です。2 年間の初期研修も早いもので、いよいよ最後の冬がやってきました。2 年間の終わりも近い 12/5、院内症例での CPC を無事終えることができましたので報告いたします。

現行の医師臨床初期研修プログラムでは全研修医が 1 回以上の病理解剖に携わることが事実上、義務化しています。とは言え、全員が病理解剖を難なく経験できるのは首都圏の大規模病院に限られ、東北地方の地域病院で研修中の小医が発表できたのは非常な幸運だったと思います。当院にとっても、2 年に 1 回あるかどうかの一大行事でしたし、仙台から笹野教授を迎えての発表会だったので事務方の苦労も一通りではなかったと思います。



東北大学大学院医学系研究科
病理診断学分野
教授 笹野 公伸 先生

最後になりますが、入院患者さんが亡くなられた直後のドタバタの中、遺族を説得して病理解剖まで漕ぎ着けてくださった担当医の先生方、休日にも関わらず仙台からお越しくくださった病理医の先生、そして悲しみの中、解剖に応じてくださった遺族の方々のおかげで、今回の CPC を行うことができました。この場を借りて御礼申し上げます。



会場の様子(山井先生)



「平成 28 年度病院大忘年会」開催報告

業務課 施設管理係 山本 稔

平成 28 年 12 月 16 日(金)、富士屋グランドホールにて恒例の「十和田市立中央病院大忘年会」が開催されました。各チームのパフォーマンスや、優れた事例発表に対する表彰式、ビンゴゲームなどで交流が深まり、とても有意義な忘年会となりました。連携先の先生方や当院職員の皆様、お忙しい中、多数ご参加いただき有難うございました。



盛上げ隊隊長
ここでも大忙し!



にぎわう会場の様子



看護師長たちも頑張りました!



毎年恒例、サンタ姿でのパフォーマンス



新型 MRI 装置 SIGNA Explorer の紹介

～上十三地区の医師をがっちり支える事業～

放射線科技師長 須藤 浩良



平成 28 年 11 月、新型 MRI 装置(GE 社製 SIGNA Explorer 1.5T) 2 台を導入しました。この装置は、資源を有効に使うことができる省エネルギー型システムで、既存装置(GE 社製 SIGNA Excite) の電磁石をリサイクル使用した、地球にやさしい装置となっています。再利用できる部品を活用することにより、購入コストを低く抑えることが出来ました。当院はもとより上十三地区の医師負担軽減にお役に立てると確信しています。



これまでは最大 3 週間の予約待ちが有りましたが、12 月 8 日現在、おおむね 3 日以内で検査が可能になりました。また MR 信号がアナログから光デジタルになり、検査時間が短縮され、精度が格段に良くなりました。MRI 検査では騒音が気になる場所ですが、機器調整中にボランティアとして試験検査を受けたところ、音量・音圧、共に小さく感じられ、体の負担が少ない、患者にやさしい印象を受けました。

向上した機能の一覧は下記の通り。

新 MRI 導入の効果

リサイクル増設により検査待ちが、最大 3 週間から 3 日以内に改善

検査時間の短縮

乳房検査コイルを導入(乳がん診療レベル向上)

放射線被ばくのない乳房・産婦人科の精密検査が可能

アナログ信号から光デジタル信号になりノイズが低減

検査の騒音レベルが低い(サイレントモード搭載)

パラレルイメージング技術導入により、画質が改善

患者の動きに強い検査が可能(ブレない画像)

閉所、圧迫感が少ないリラックスした検査

さらなる安全な検査(SARの低減)



強い磁場を応用した技術ですので、十分な安全確保が必要となります。ハード面だけでなく、さらなる安心安全の医療が提供できるよう、職員一丸となって取り組んで参ります。



外来担当医表

随時更新しておりますので、下記のURLからのご確認をお願いします。

<http://www.hp-chuou-towada.towada.aomori.jp/03sinryo/03gairaiDoctorList.html>